



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社くすりの窓口 上場取引所 東  
 コード番号 5592 URL <https://kusurinomadoguchi.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堤 幸治  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 外間 健 (TEL) 03-6712-7406  
 四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	6,259	—	1,101	—	1,101	—	720	—
2023年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 731百万円( —%) 2023年3月期第3四半期 一百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	73.79	71.55
2023年3月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は2023年3月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年3月期第3四半期の数値及び2024年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。  
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高がありますが、当社は2023年10月4日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2023年3月期第3四半期連結累計期間については、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。  
 3. 2024年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社株式が2023年10月4日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、新規上場日から当第3四半期末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	21,301	6,243	29.2
2023年3月期	12,219	2,793	22.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 6,218百万円 2023年3月期 2,694百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

連結業績予想に関する序文

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,298	11.8	1,233	17.4	1,178	25.5	751	91.8	72.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 株式会社ホスピタルヘルスケア 除外 1社(社名) 株式会社介護サプリ

当第3四半期連結会計期間において、当社は2023年12月1日開催の取締役会にて株式会社ホスピタルヘルスケアの株式の追加取得による同社及び同社の完全子会社株式会社EPARK人間ドックを子会社化することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し、株式会社ホスピタルヘルスケアの普通株式を取得し完全子会社としております。

第2四半期連結会計期間において、当社が保有する株式会社介護サプリの株式の一部を合併先である株式会社神戸デジタル・ラボに譲渡いたしました。この譲渡により、当社は株式会社介護サプリに対して重要な影響力を失うことから、第2四半期連結累計期間末より同社を連結の範囲から除外しております。なお、当社が2023年10月4付で東京証券取引所グロース市場への上場したことに伴い、当第3四半期連結会計期間末において、同社は特定子会社に該当いたしません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	10,980,000株	2023年3月期	9,180,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	—株	2023年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	9,769,090株	2023年3月期3Q	9,180,000株

(注) 2023年3月1日付で株式1株につき300株の分割を行っておりますが、2024年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定し、2024年3月期3Qの期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、前第3四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が緩やかに持ち直しつつあるものの、ウクライナ情勢が長期化するなかで、エネルギー価格や原材料価格の高騰による物価の上昇や、円安等の影響を受け、依然として今後も先行きの不透明な状況が続くと見込まれます。

医療情報システム業界におきましては、4月から始まったオンライン資格確認の導入の原則義務付けに加え、電子処方箋の取り組みも開始され、いわゆる医療DX化が国を挙げて推進されました。また一部医薬品の供給不安を踏まえ、後発医薬品の使用促進、地域支援体制加算等を含む診療報酬上の特例措置が2023年4月より始まり、12月まで9か月間、時限的に適用されました。

このような市場動向は、医療及び健康管理分野においてITを利用した様々なサービスを展開している当社にとっては好機と捉え、顧客基盤の拡大と、一般消費者に対するサービスの認知向上に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間においては、売上高は6,259,391千円、営業利益は1,101,298千円、経常利益は1,101,585千円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は720,929千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比較して8,607,385千円増加し、17,159,195千円となりました。これは主に、短期借入金及びみんなのお薬箱事業の共同仕入サービスにおける支払期間と回収期間の差の一時的な影響により現金及び預金が7,827,510千円増加したこと、受取手形、売掛金及び契約資産が720,912千円増加したことによるものであります。

固定資産は4,142,449千円となり、前連結会計年度末に比べ475,183千円増加となりました。これは主にソフトウェア及びその他に含まれるソフトウェア仮勘定が384,901千円増加したことによるものであります。この結果、総資産は前連結会計年度末と比較して9,082,568千円増加し、21,301,644千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して5,572,707千円増加し、14,698,194千円となりました。これは主に短期借入金が5,000,000千円増加及びみんなのお薬箱事業の共同仕入サービスにおける支払期間と回収期間の差の一時的な影響により未払金が193,215千円増加したこと、未払法人税等の増加222,000千円などによるものであります。固定負債は360,154千円となり、前連結会計年度末に比べ60,138千円増加となりました。この結果、負債合計は前連結会計年度末と比較して5,632,846千円増加し、15,058,349千円となりました。

純資産は、前連結会計年度末と比較して3,449,722千円増加し、6,243,295千円となりました。これは東京証券取引所グロース市場新規上場に伴う新株発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,407,600千円増加したこと、並びに主に利益剰余金が708,897千円増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,946,649	13,774,159
受取手形、売掛金及び契約資産	2,381,320	3,102,232
その他	225,658	282,935
貸倒引当金	△1,817	△131
流動資産合計	8,551,810	17,159,195
固定資産		
有形固定資産	126,263	125,021
無形固定資産		
のれん	305,361	285,043
ソフトウェア	2,590,853	2,784,434
その他	244,557	435,877
無形固定資産合計	3,140,772	3,505,355
投資その他の資産		
その他	434,158	545,486
貸倒引当金	△33,928	△33,414
投資その他の資産合計	400,229	512,071
固定資産合計	3,667,265	4,142,449
資産合計	12,219,075	21,301,644

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	156,472	68,730
短期借入金	100,000	5,100,000
未払金	7,871,935	8,065,151
未払法人税等	155,615	377,616
引当金	122,044	112,819
その他	719,418	973,876
流動負債合計	9,125,486	14,698,194
固定負債		
その他	300,016	360,154
固定負債合計	300,016	360,154
負債合計	9,425,502	15,058,349
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	1,507,600
資本剰余金	1,640,149	3,047,749
利益剰余金	953,938	1,662,836
株主資本合計	2,694,088	6,218,186
新株予約権	1,843	1,843
非支配株主持分	97,641	23,265
純資産合計	2,793,573	6,243,295
負債純資産合計	12,219,075	21,301,644

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	6,259,391
売上原価	2,691,245
売上総利益	3,568,146
販売費及び一般管理費	2,466,847
営業利益	1,101,298
営業外収益	
持分法による投資利益	27,412
その他	10,122
営業外収益合計	37,534
営業外費用	
上場関連費用	31,734
その他	5,512
営業外費用合計	37,247
経常利益	1,101,585
特別損失	
固定資産除却損	15,487
子会社株式売却損	3,638
特別損失合計	19,126
税金等調整前四半期純利益	1,082,459
法人税、住民税及び事業税	424,929
法人税等調整額	△74,416
法人税等合計	350,513
四半期純利益	731,946
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,017
親会社株主に帰属する四半期純利益	720,929

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 2023年4月1日  
至 2023年12月31日)

四半期純利益	731,946
四半期包括利益	731,946
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	720,929
非支配株主に係る四半期包括利益	11,017

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年10月4日付で東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。この上場にあたり、2023年10月3日を払込期日とする公募（ブックビルディング方式による募集）による新株式1,800,000株の発行を行い、資本金および資本剰余金がそれぞれ1,407,600千円増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が1,507,600千円、資本剰余金が3,047,749千円となっております。

(セグメント情報等)

当社グループは薬局、医療、介護向けソリューションの提供の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (重要な後発事象)

## (取得による企業結合)

①当社は、2023年12月27日開催の取締役会において、キューブイメージング株式会社の株式を取得し、子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約書を締結し、2024年1月4日にキューブイメージング株式会社の普通株式60株を取得しました。

## 1. 企業結合の概要

## (1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：キューブイメージング株式会社

事業の内容：調剤監査システムの開発・販売

## (2) 企業結合を行った主な理由

当社グループが提供する事業とキューブイメージング株式会社の事業は、同じヘルスケア領域に属する分野であり、同社の調剤監査システム「Cube. i」は薬局における調剤過誤の防止に効果があるため、医療機関、とりわけ当社グループの顧客基盤である調剤薬局の多くに必要性を感じていただける他、患者様の安心を高めることにもつながると考えております。また、当社グループとの事業運営ノウハウの共通化や相互の顧客基盤を通じた提供サービスの高度化、高付加価値化と、販売及び管理コストの削減による収益力の向上等のシナジー効果も期待できるとものと判断したためであります。

## (3) 企業結合日

2024年1月4日

## (4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

## (5) 結合後企業の名称

変更はありません。

## (6) 取得した議決権比率

100.0%

## (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

## 2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	0千円
取得原価		0千円

## 3. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

## 4. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

②当社は、2024年1月12日開催の取締役会において、ハイブリッジ株式会社の株式を追加取得し、子会社化することについて決議し、2024年1月13日付で株式譲渡契約書を締結し、2024年1月15日にハイブリッジ株式会社の普通株式3,465株を取得しました。

#### 1. 企業結合の概要

##### (1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：ハイブリッジ株式会社

事業の内容：電子薬歴システム「Hi-story」等の開発・システム構築・販売・操作指導・メンテナンス

##### (2) 企業結合を行った主な理由

当社グループが提供する事業とハイブリッジ株式会社の事業は、同じヘルスケア領域に属する分野であり、とりわけ、当社グループが患者様向けに提供する「EPARK お薬手帳」は、同社の電子薬歴システム「Hi-story」との親和性が高く、電子薬歴の情報をお薬手帳に反映することで、より適切な情報提供に基づいて患者様の服薬をサポートできるため、多くの利用者がいる当社のお薬手帳との連携は、患者様の服薬管理を電子薬歴で実施する調剤薬局の生産性向上に特に資すると考えております。また、当社グループがお預かりしている患者様のヘルスケア情報等を電子薬歴に反映することで調剤薬局における転記等の業務を削減し確認漏れを防止するなど、同社システムと当社が提供するレセコン等の各種システムが連携する余地は大きく、レセコンと並ぶ薬局の基幹システムである電子薬歴システムを取り込むことで、当社グループとの事業運営ノウハウの共通化や相互の顧客基盤を通じた提供サービスの高度化、高付加価値化と、販売及び管理コストの削減による収益力の向上等のシナジー効果も期待できるものと判断したためであります。

##### (3) 企業結合日

2024年1月15日

##### (4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

##### (5) 結合後企業の名称

変更はありません。

##### (6) 取得した議決権比率

企業結合直前に所有していた議決権比率 10.0%

企業結合日に追加取得した議決権比率 41.0%

取得後の議決権比率 51.0%

##### (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

#### 2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	287,044千円
取得原価		287,044千円

#### 3. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

#### 4. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。